

広島大学校友会理事会，幹事会合同会議 議事要録

日 時 平成28年2月1日(月) 16:30~17:10
場 所 広島大学 東千田キャンパス 東千田総合校舎 共用講義室
出席者 越智会長，原田顧問(兼)副会長，牟田顧問，土肥副会長，佐々木副会長，竹林監事，前川常任理事，
桂常任理事，飛田常任理事(兼事務局長)，中村理事，間田理事，松村理事，水戸理事，
竹中理事，松尾理事，尾形理事，勝部理事，宮谷理事，菅井理事，松浦理事，平川理事，
江坂幹事，大高幹事，沖原幹事，下田幹事，相原幹事，坂下幹事，畑尾幹事
(陪席者) 河村学長室長，西崎総務副GL，中村主査，西原

(報告)

1. 第9回ドリームチャレンジ賞応募・選考結果について ----- 資料1
(桂常任理事 [ドリームチャレンジ賞選考委員会委員長] 報告)
第9回ドリームチャレンジ賞については，申請要件を校友会員に限定し，活動期間終了後に成果報告会を行うこととし，例年より応募スケジュールを少し早めたところ，応募が50件あり，選考の結果，34件(助成総額528万円)を採択し，10月1日(木)に学士会館レセプションホールにて助成金授与式を行った旨の報告があった。
2. 課外活動援助金授与式(H28.2.4)について ----- 資料2
(飛田常任理事(兼)事務局長報告)
課外活動援助金については，これまで148団体に総額18,106,500円の援助を行っている。平成27年については，「平成27年1月から12月までの地区予選等を経て全国・世界的規模の大会に出場した課外活動団体に対して，遠征費，奨励費を援助する」(参考資料1,2)で募集を行い，教育・国際室学生生活支援グループと共同で審査の上，23団体に4,663,800円(資料2-1)を援助することとし，今月2月4日に課外活動援助金授与式を行う旨の報告があった。
3. 学術研究助成金成果報告会(H28.2.18)について ----- 資料3
(飛田常任理事(兼)事務局長報告)
学術研究助成金報告会については，例年，公益財団法人広島大学教育研究支援財団と共催で行っており，今年度の支援分(資料3-1,3-2,3-3)については，今月2月18日(木)に学士会館2Fレセプションホールにて開催する旨の報告があった。
4. 校友会だより第19号について ----- 資料4
(飛田常任理事(兼)事務局長報告)
校友会だよりについては，会報として年2回発行している。今号(校友会だより第19号(2月発行))については，編集・構成案のとおり，約29,000名(校友会員，校友会在学生会員保護者，平成28年度入学生，平成27年度卒業生，第9回ホームカミングデー寄付者等)に送付するよう作業を進めている旨の報告があった。

(議事)

1. 役員の交替等について ----- 別紙1
(会長提案・飛田常任理事(兼)事務局長説明)
役員の交替について，顧問の辞任(1名)，理事の交替(2名)及び代議員の辞任(1名)について提案があり，審議の結果，原案のとおり承認した。
2. 次期役員(任期)について ----- 別紙2
(会長提案・説明)
次期役員の任期(平成28年2月27日から平成31年2月26日)について，現行の方を引き続き再任したいという提案・説明があり，審議の結果，原案のとおり承認した。

3. 第9回広島大学ホームカミングデーの実施結果について ----- 別紙3
(会長提案・飛田常任理事(兼)事務局長説明)

第9回広島大学ホームカミングデーの実施結果について、参加者数、参加者アンケート結果及び中国新聞社提供の調査結果分析について説明があった。

寄付については、卒業生、在学生保護者など82名から総額1,001,000円をいただき、この寄付の使途については、ホームカミングデーの実施経費として活用したい旨の提案・説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

決算については、支出額12,171,815円(大学負担6,353,050円、校友会負担5,818,765円)であり、昨年より削減できた旨の説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。